

令和5年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 足立 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和5年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部です。

1. 調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上にかかる施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

(2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

※ 本校の5年生は単学級ですので、個人が特定されないことがないよう、公表の方法について配慮しています。

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市の実技調査の結果

<男子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.13	19.00	33.99	40.61	46.91	9.48	151.16	20.51	52.60
本市	16.30	19.17	34.49	40.75	49.29	9.48	152.47	21.39	53.38

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.02	18.05	38.47	38.74	36.81	9.71	144.34	13.22	54.29
本市	16.35	18.36	38.88	38.78	39.26	9.70	145.97	13.51	55.18

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査の結果分析

運動や体を動かすことが好きかの質問については、男女で大きな差があり、男子が80%、女子が40%であった。しかし、運動が自身にとって大切だと感じている児童は、どちらも90%以上と高く、主な理由として、体を動かすことが好き、健康に生活できるようになるからという理由であった。また、どうしたら好きになるかとの質問については「自分のペースで行うことができた」という回答が大きく占めていた。体育科の学習については、進んで参加している児童が97.2%と高く、友達と助け合ったり、教え合ったりすることで、できたり、わかったりすることが多いという結果であった。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組

児童アンケートでは「体育では、自分の目標をもって、力いっぱい体を動かして学習に取り組んだ」の肯定的回答の割合が94%と高い。これは、体育専科指導による専門的な指導や、運動領域における自分たちの動きや動作をICTを活用して客観的に分析し課題を見出し、生かすことができているからと考えられる。今後も、活動時間を十分に確保し、教え合い・学び合い活動を中心に意欲的な学習につなげられるよう工夫を行う。

② 運動習慣等に関する取組

本校児童の睡眠時間は、3時間～10時間以内が58%となっている。十分な睡眠時間をとることは健康的で意欲的な生活を営む上でとても重要であるため、引き続き家庭との連携、保健体育「心と身体の健康」領域の学習を充実させていく。足立スポーツフェスタや、縦割り活動での「大縄大会」などの行事を通して、身体を動かすことの気持ちよさや、運動習慣の確立を目指していく。